

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (01-05)

団体名	(特非) NGO神戸外国人救援ネット	代表者名	理事長 飛田 雄一
事業名	難民申請者等の生活と権利を守るためのプロジェクト		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」「毎 ○曜日」等で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
毎週金曜日	事務所	145 (10)	相談窓口 13:00~20:00
月1回 (4月1日 ~1月31日)	相談者宅	47 (3)	食料支援
4月1日 ~1月31日	関連機関	12 (3)	同行通訳支援: 役所、法律事務所、入管、空港など
1月9日	ふたば学舎	18 (7)	「神戸と難民」を学ぶ講演会 講師: 野上恵美さん

<効果と成果>

以下の活動を通じて難民申請者等の生活と人権を守る取り組みができた:

- ・多言語生活ホットライン 毎週金曜日10時~20時 (※本事業対象は13時~20時相談員人件費)
- ・本事業でサポートした兵庫県在住の難民申請者、困窮する外国人・・・のべ59人 (実20人)
- ・同行支援回数・・・12回

以下の活動を通じて「難民と神戸」の歴史の掘り起こしができた:

- ・「難民と神戸」を学ぶ講演会とまちあるき 講演会25名、まちあるき22名

<今後の展望>

過去の「難民と神戸」の事例を踏まえて、どのようにしたら今後、難民が自由に、安全に、安心して神戸で、日本で住むことができるかを考えていきたい。難民が住みやすい地域づくりをしていくために、救援ネットの横のつながりだけでなく、神戸市民、兵庫県民と共に考えていきたい。特に、小学生や中学生等にも、神戸のまちに何故このような建物(ロシア正教やシナゴーク等)があるのか、神戸を代表する産業(モロゾフやケミカルシューズ)がどのようにできたのかを知ってもらい、未来につながるような企画をしたい。

そして、難民・難民申請者を取り巻く制度の改定については、省庁交渉などで粘りよく主張していきたいと考える。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	400,000
自己資金	234,572
合計	634,572

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金 (円)
直接経費	人件費	315,000	170,000
	通訳費用	168,500	116,600
	燃料費	47,092	30,000
	その他 (旅費交通費、印刷費等)	103,980	83,400
	小 計	634,572	400,000
間接経費 (一般管理費)		0	0
合 計		634,572	400,000